



へきなん

防災 フェスタ 2024

11/10 日 9:00~12:00

会場
新川中学校

「学ぶ・見る・体験する」をコンセプトに 27個の体験・PRブースがあります
家族で楽しみながら防災・減災を考え 今日から できることから対策を進めてください

記念品が貰える！
スタンプラリー

会場内にある3か所全てのチェックポイント
でスタンプを集めると、記念品が貰えます
スタンプを集めたら、記入したアンケート用
紙を持って総合案内へお越しください

※無くなり次第終了です



写真を撮ろう！
ちびっこ制服
大集合

警察・消防・自衛隊の各ブースで、ちびっ
こ制服の試着体験ができます
パトカー・消防車・
自衛隊車両と記念
写真が撮れます



イベントエリア
ショート講演

9:15~

能登半島地震に災害派遣された職員3人
によるショート講演です

「能登半島地震から考える」

- ・ 決死の72時間～守るべき大切なもの～
- ・ 志賀町派遣所感～被災地での交流を通じて～
- ・ 私たちが今できることは？

～被災者の声から考える～

中学生以下限定！
輪投げ
コーナー

中学生以下の来場者は、1人1回お菓子
などが貰える輪投げに
参加できます
参加は無料です

※無くなり次第終了です



イベントエリア
天災クイズ

10:30~

防災に関する○×方式のクイズ大会
勝ち残った人には天才賞をプレゼント
グループ参加がオススメ！
誰でも参加できます

※定員に達し次第参加受付終了です
途中参加不可です



碧南市総合防災訓練実行委員会

【事務局】 碧南市防災課 ☎0566-95-9875

会場マップ

- ・スタンプラリーのチェックポイントは、体育館と屋外に全部で3か所あります。
- ・体育館前方イベントエリアの詳細はパンフレット1ページにてご確認ください。
- ・中学生以下の来場者は、正門正面の輪投げコーナーに参加できます。
- ・会場内は禁煙です。
- ・お手洗いは体育館とグラウンドにあります。
- ・グラウンド内駐車場は、入口は東門、出口は校舎を周回する形で西門です。



  <h2>総合案内</h2>	 <h2>1 ハザードマップを確認しよう</h2> <p>碧南市</p>
<p>会場内でご不明な点などありましたらお尋ねください。スタンプラリーの記念品交換やアンケートの回収を行っています。アンケート記入コーナーは総合案内前にあります。</p>	<p>災害時の安全確保や防災対策を行うには、自宅の災害リスクを知ることが大切です。記入シートを使って、ハザードマップを災害ごとに確認しましょう。また、防災に精通した職員が、防災に関する相談にも応じます。</p>
 <h2>2 地震・津波VR体験</h2> <p>碧南市</p>	 <h2>3 小児・乳児救命講習</h2> <p>碧南市</p>
<p>専用のゴーグルを用いて、仮想空間の中で地震を体験しましょう。地震の映像が360°で体験できます。また、約40km/hの速度で迫る津波から自転車を漕いで逃げ切れるか体験できる津波VR体験も行います。</p>	<p>小児や乳幼児が、心肺停止になりうる不慮の事故に遭わないようにするため、日常生活で危険を取り除く大切さを学びましょう。救命救急士が体験談とともに解説します。また、AEDや胸骨圧迫といった心肺蘇生法も行います。</p>
 <h2>4 災害時に役立つもの作り</h2> <p>碧南市赤十字奉仕団</p>	 <h2>5 家庭にあるものを使った救急法</h2> <p>碧南市赤十字奉仕団</p>
<p>ビニール袋を使った簡単なカッパ(家庭用防護服)作りを学びましょう。</p>	<p>腕を骨折やケガをした時にポリ袋を使って腕を吊る方法を学びましょう。</p>
 <h2>6 避難生活でのからだところの整え方</h2> <p>碧南市健康課 [協力：中北薬品株式会社]</p>	 <h2>7 防災食の試食とプレゼント</h2> <p>アルファー食品株式会社</p>
<p>エコノミークラス症候群予防のための運動実技を体験しましょう。また、避難所での健康管理についてもお知らせします。</p>	<p>災害備蓄食料として便利な長期保存商品を試食と共に紹介します。食べてみて、備蓄を進めましょう。アルファ化米の試食をした方を対象に、ガラボンでアルファ化米などがあたります。</p>
 <h2>8 災害ボランティアセンター立上げ訓練</h2> <p>碧南防災ボランティア連絡会</p>	 <h2>9 給水車からの給水体験・装備品展示</h2> <p>陸上自衛隊中部方面特科連隊 第2大隊第6中隊</p>
<p>被災地へボランティアに行ったときのセンター受付から支援活動に行く際の流れを体験しましょう。また、防災に関する相談などにもお答えします。</p>	<p>様々な訓練で使用しているトラックなどの自衛隊車両と能登半島地震で大活躍した1tタンク水トレーラを展示します。実際にコップに水を汲む体験をしてみましょう。</p>
 <h2>10 水道応急給水体験</h2> <p>碧南市水道課</p>	 <h2>11 感震ブレーカー・家具固定PR</h2> <p>碧南防災ボランティア連絡会</p>
<p>給水車による応急給水を実際に体験してみましょう。また、展示物を見て、碧南市の水道の仕組みや、有事に備えた水確保などに関する知識を深めましょう。</p>	<p>近年の大地震後には、電気に起因する火災が多く発生しています。電気に起因する火災を防ぐには、感震ブレーカーの取り付けが有効です。感震ブレーカー取り付けや家具固定の必要性について学びましょう。</p>

12



あなたなら、 こんな時どうする？

社会福祉法人碧南市社会福祉協議会

災害時、避難所にはいろんな人が集まります。ゲームを通して沢山の人の困りごとを知り、温かい言葉を集め、みんなの想いをカタチにしましょう。

14



災害時に役立つ 「長期保存食」

中北薬品株式会社

更新の手間が省ける25年保存の美味しい備蓄食を紹介します。いざという時こそ手軽に、ほっとできるおいしさを。7年・5年保存のわんちゃん用商品もあります♪

16



食品備蓄 ローリングストックPR

大塚製薬株式会社

バランス栄養食大塚製薬カロリーメイトの製品紹介や、効率的な食品備蓄の方法「ローリングストック」について説明します。

18



外国人への災害対応PR

碧南市友好親善協会

外国人向け、愛知県が作成している「あいち多文化防災ポケットガイド」の配布や災害用アプリの普及を行います。

20



耐震診断PR・ 空き家相談

碧南市建築課

無料耐震診断の受付や空き家の困りごとを伺います。ピノキオぶるる(木造住宅倒壊模型)で、地震による住宅の揺れ方の実験や、クイズに挑戦してみましょう。

22



災害放送PR

株式会社キャッチネットワーク

地域住民の安全安心を守るため、災害時緊急放送を行っていただきます。キャッチネットワークの災害放送の紹介をします。

24



重機車両展示

碧南市災害復旧協議会

自然災害発生時に被災地で活躍する重機車両を展示します。重機への興味を通じて、防災意識を高めてもらいます。

26



消防車両展示・ 火災予防PR

碧南市消防団
[協力：衣浦東部広域連合碧南消防署]

火災予防のPRと、消防車両、火災時に消防士が着る防火服の展示、消防グッズのプレゼントを行います。
ちびっこ制服の試着体験や記念撮影もできます。

13



ペットの防災の備え

アース・ペット株式会社

避難所における「ニオイ」や「しつけ」対策のPRをトリマーが行います。
また、防災の備えに関するクイズを行い、回答した方には備えとなる景品をお渡しします。

15



防災用品PR

生活協同組合コープあいち

いざという時に備えて、最低でも3日分、できれば1週間分くらいの食品備蓄が重要です。
非常食や、防災用品の展示を行います。

17



避難所生活を助ける 段ボール製防災用品の展示

株式会社鈴木紙器

避難所のプライバシーを守るパーテーション、快適な眠りを与えてくれる段ボールベッド、停電、断水時に安心の段ボール製簡易トイレを展示します。

19



「わたしの避難計画」を 作りましょう！

碧南市高齢介護課・福祉課・
地域包括支援センター

あなたの近くに災害時に避難したいにも関わらず避難が困難な高齢者や障がい者の方はいませんか。その方への声かけや避難の支援などについて一緒に考えましょう。

21



下水道PR・ マンホールトイレ展示

碧南市下水道課

下水道のマンホールの上に、簡易な便座を設けて使用する災害時のトイレ「マンホールトイレ」を説明します。
碧南市では、小学校など7か所に整備されています。

23



パトカー展示・ 警察災害派遣活動PR

愛知県碧南警察署

熊本地震における警察の活動状況を、パネルを用いて紹介します。
パトカーの展示、**ちびっこ制服の試着体験**や記念撮影もできます。

25



排水ポンプ車両展示・ 河川の防災PR

国土交通省中部地方整備局
豊橋河川事務所

水中ポンプ・発電機・ホースを搭載しており、浸水被害のある場所に1台で排水作業が可能な排水ポンプ車を展示します。

27



自衛隊車両展示・ 災害派遣活動PR

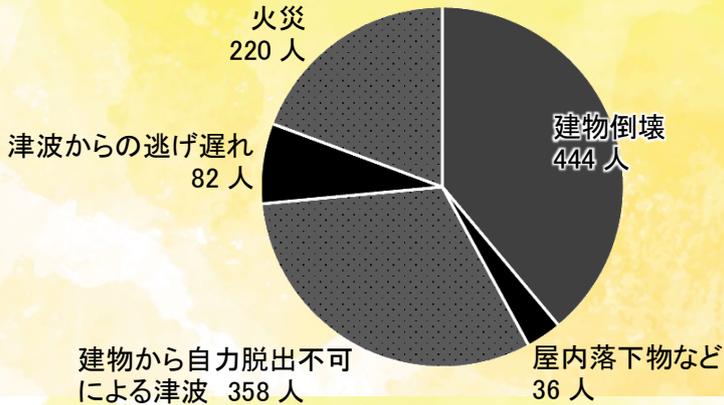
自衛隊愛知地方協力本部
安城募集案内所

自衛隊の災害派遣活動を、写真などを展示し紹介します。
ちびっこ制服の試着体験や記念撮影もできます。

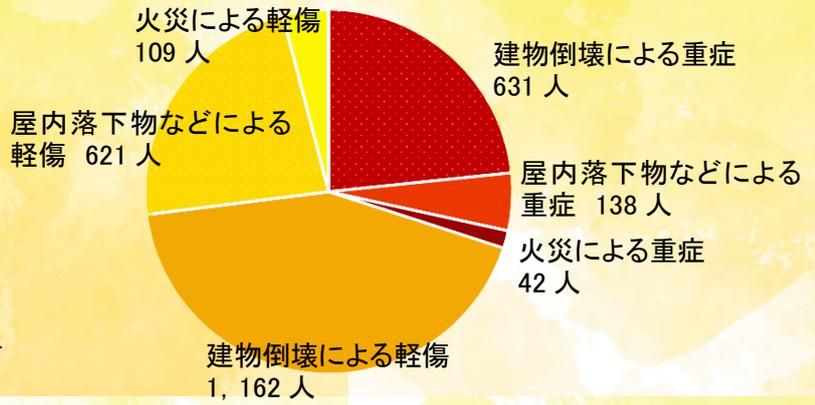
碧南市の人的被害予測

碧南市に最大想定地震が発生すると、約 1,000 人の方が亡くなると予想しています。この予測値は、人口比でみると阪神淡路大震災の神戸市や、東日本大震災の仙台市を大きく上回る被害です。

死者 1,140 人



負傷者 2,703 人



建物の耐震化や家具などの固定を行うと **死者約 70% 負傷者約 95% 減らせる可能性**があります

被災者から皆さんに伝えたいこと「一日前プロジェクト」

[出典:内閣府ウェブサイト「一日前プロジェクト」]



「液状化で歩くのもままならず」

(平成19年新潟県中越沖地震／柏崎市 40代 男性)

子どもの無事を確認した後、自宅から歩いて3分ぐらいのところにいる私の両親の安全を確認しようと、娘と家を出ました。ところが、液状化現象で砂が道路にいっぱい出てきていて、普通の靴では歩けないような状況でした。歩くと砂がバーツとあふれ出る感じで、ビショビショになり

ながら娘を抱えて、わずか数100mのところにある両親の家に、やっとの思いでたどり着きました。

それから、反対方向の市内には、橋を越えないと行けないのですが、その橋が液状化の影響で道路と段差ができ、しばらくの間通れませんでした。液状化がもっと広い範囲で起こったら大変なことになっていたと思います。

「乾パン5個の食事～いつ届くかわからなかった追加支援～」

(東日本大震災／気仙沼市 50代 男性)

避難してきた650人ぐらいの人を会議室、和室、玄関、廊下、楽屋に避難していただき、入りきれない人には玄関ホールに入ってもらいました。毛布の備蓄は20～30枚ぐらいしかありません。古新聞、ダンボールも用意しましたが全然足りません。その日の食事は、1人乾パン5個です。追加の食糧支援がいつ届くかわからない状態ですから、人数分用意できるものを慎重に配分するしかありません。缶詰の備蓄もありましたが、こちらは全量が足りなかったので使用しませんでした。情報もない、物資もない、人だけでは多い中での決断でした。

「建てかえるより倒れない家にする」

(平成19年能登半島地震／穴水市 60代 女性)

余震のたびに危険度が増していった、このあたりで有名な築100何十年の旧家もつぶすことになりました。

家を建てかえるとしても半年以上かかるし、莫大な費用とその間の不自由な思いを考えれば事前に平時から家が倒れないように補強した方がいいんじゃないかなとつくづく思いました。



地震発生から避難までの流れ

大地震が発生したら、とっさの判断が生死を左右します。冷静に対応するのは難しいので、以下の行動パターンを普段から覚えておきましょう。なお、避難先の考え方に関するフローチャートを、次のページに記載しています。



落ち着く



揺れから身を守る



脱出口を確保



靴を履く

ガラスの破片などから足を守る

火元を確認
出火していたら
初期消火

炎が天井に届いたら
初期消火の限界

電源ブレーカー
を切る

大震災後に多発する
電気火災防止に有効

家にいる
家族の
安全を確認

非常用
持ち出し品を
確保

地震発生後は 家屋の倒壊から身を守るため 原則屋外へ一時避難します

津波・崖崩れ・堤防決壊の危険が想定されている地域はすく避難



次の大きな地震に警戒

家の外観確認

壁の大きな亀裂、一部崩壊、
傾きの有無などで判断

自宅に危険がある場合は避難

自宅倒壊や火災などの被害がなければ避難する必要はありません。避難所は、プライバシーが無く、支援物資が届くまでは何もありません。また、希望する物資は手に入りません。生活継続が可能なら、自宅がより良い避難所です。



家にいない家族の安否確認

電話は使わずに災害用伝言ダイヤル
171やLINE・SNSの利用

情報収集

ラジオ・テレビなどで
正しい情報を確認
SNSでの誤情報やデマに注意

隣近所に声をかけ
安否確認

安全が確保できる場所に 到着してから行きます



生活必需品は
自己備蓄で
まかなう

災害情報
被害情報の
収集

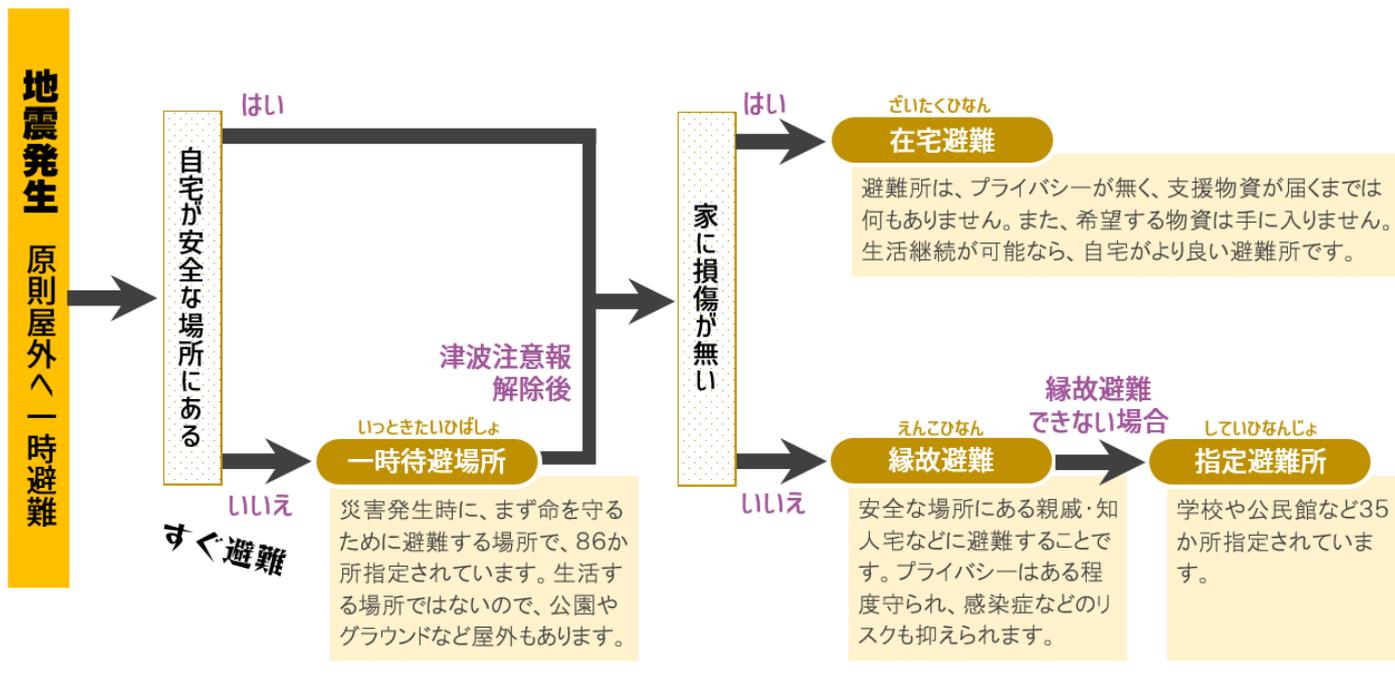
壊れた家には
入らない

引き続き
大きな地震に警戒

大地震発生から3~6時間ほどで半数以上の方がトイレに行きたくなります。飲食料はもちろんのこと、携帯トイレやカセットコンロ・ボンベなど、ライフラインが途絶えても暮らせるように備蓄しておきましょう。

避難先の考え方

避難とは、「難」を「避」けることで、避難所へ行くことではありません。
地震発生後は、家屋の倒壊から身を守るため、原則屋外へ避難しますが、
自宅が安全な場所にあり、家などに損傷が無く安全が確認されている場合
は、避難所に行く必要はありません。



備えない防災 フェーズフリー

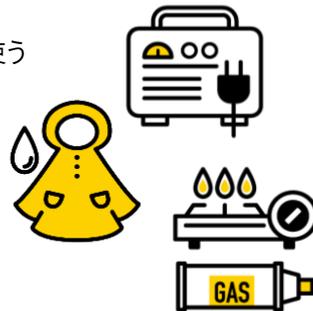
日常時も災害時も、変わらずに活用できる「フェーズフリー」という考え方があります。災害時に使うものを別に用意するのではなく、普段使う道具やサービスなどを、災害時でも使えるものに、変えていくという考え方です。

ローリングストック法

食品や日用品を多めに買い置きしておき、日常で古いものから順に使い、減った分を買い足す方法(ローリングストック法)がおすすめです。水の備蓄は、特に推奨します。災害時の応急給水時は、長時間並ぶことが想定され、また、水を運ぶには大きな労力が必要です。小さなお子さんやご高齢のご家族がいる方は、大変な負担となります。

普段使いのモノでの具体例

- ラジオ** : スマートフォンなどの通信機器が通じなくなった場合の情報収集手段として使う
- レインコート** : 雨風を防ぐ他に防寒着としてや、避難時のトイレや着替え時の目隠しとして使う
- 靴下** : 重ね履きすることで、靴が無い場合の足のケガ防止として使う
- ビニール袋・撥水性のあるマイバッグ** : 水を運ぶためのバケツとして使う
- 大判のハンカチ** : 物を運ぶための風呂敷、ブランケットの代用、応急手当用品、頭や口元を覆う頭巾、敷物、赤ちゃんの抱っこ紐の代用として使う
- ペットシート・猫砂** : 人用の簡易トイレで使う



レジャーグッズでの具体例

- 寝袋・ヨガマット・テント・チェア・カセットコンロ・ポータブル電源など** : 避難生活で使う
- レジャーシート** : 寝るときや雨除けで使う
- ライフジャケット** : 避難時の救命胴衣で使う

大規模災害時の応急手当の考え方

心肺停止などで倒れた人が、日常生活ができる状態まで回復する割合(社会復帰率)は、大人に比べ子どもは極めて低くなっています。大規模災害時では、救急医療の逼迫などにより、社会復帰率は特に低くなります。

平時からの予防が大切です

大規模災害時をはじめ、負傷を防ぐには**予防に勝るものはありません**。住宅の耐震化をはじめ、家具の固定やガラス飛散防止フィルムの取り付けなどが効果的です。

また、子どもの突然死の主な原因は、けが、溺水、窒息などの事故ですが、その多くは日頃の配慮で予防できます。自動車乗車時のチャイルドシート、自転車乗車時のヘルメット、水の事故への注意、小さな子どもの手の届くところに口に入る大きさの物や中毒の原因となるような薬品や洗剤、たばこなどを置かないといった配慮が必要です。

救命の連鎖

「心停止の予防」「早期認識と通報」「一時救命処置(心肺蘇生とAED)」「二次救命処置と集中治療」をそれぞれ4つの輪に例え、これらの輪が途切れることなく迅速に連携されることで救命率が向上することを表しています。

大規模災害時は、輪が途切れてしまうので、**予防が極めて重要です**。



心肺停止の人の社会復帰率は2.5%

2022年の1年間において、西三河地区で心肺停止になり救急車で病院搬送された人は、約1,450人です。その内、1か月後に社会復帰できた人は36人で、率にして2.5%です。

居合わせた人などにより、心肺蘇生が実施されたケースが含まれているにも関わらず、心肺停止になった人の社会復帰は、平常時でも極めて厳しいことを物語っています。心肺停止に陥らないように、日常から**予防することが極めて重要です**。

AEDは魔法の箱ではありません

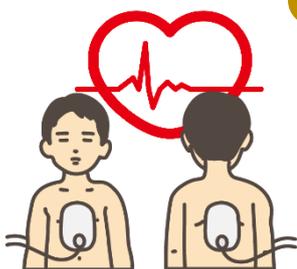


AEDは、心臓が元に戻る「魔法の箱」ではありません。AEDは心臓の^{けいれん}痙攣を取り除く機械です。心停止の人が、AEDによって心拍再開したとしても、心停止の原因を治さない限り、再び心停止に陥ります。大規模災害時は、救急医療が逼迫するため、原因を治すことが困難になるため、そうならないように**予防することが極めて重要です**。

なお、倒れた人を助けるために一番大切なことは、居合わせた人がしっかり胸骨圧迫を行うことです。

子どもの一次救命処置

AEDの使い方



- 小学生～大人用(旧成人用)の手順と同様ですが、未就学児用(旧小児用)のパッドやモードがある場合、未就学児にはそれを使用します。
- 無い場合は、小学生～大人用を使用します。

胸骨圧迫と人工呼吸



- 成人と同様、胸骨圧迫30回と人工呼吸2回の組み合わせを絶え間なく続けます。
- 胸の厚みの約3分の1沈む深さまで強く圧迫します。

スタンプラリー

3か所のチェックポイントでスタンプを3つ集めると記念品が買えるクジに参加できます！

STAMP CARD



3つの色のスタンプを1個ずつ押してね！



参加方法

- スタンプを3か所で3個集める
- アンケート用紙を記入する
- 11時45分までに総合案内へ
- クジを引いて記念品GET！
- ※なくなり次第終了

空クジなし

A賞 100本 B賞 100本 C賞 800本

クロスワードに正解すると A賞・B賞の確率がアップ！



⇒ ヨコのカギ

- 「備えずに防災」という考え方
- 火災現場で活躍する消防□□□自動車
- 地震による電気火災を防ぐには□□□□ブレーカーの設置が有効です
- 市民の安全を守る地域のヒーロー
- 大規模災害時、家族が全員無事なら玄関などにコレを掲げましょう
- 災害時に水道が使えなくなったときに井戸水を使わせてくれる「井戸水□□□□の家」
8. へきなん広報大使は永島□□□さんと中村□□□さん

⇩ タテのカギ

- 初期消火に使います
- 大浜地区で生まれたキャラクター
- 自宅周辺の災害リスクなどをこれで確認しましょう
- 少し多めに買い置きし、使った分を買い足す備蓄方法は□□□□□ストック
- もしものときの家族の安否確認として覚えておきましょう 災害用□□□□□□□□

答え

防災・減災対策は



防災情報には **碧南市 LINE 公式アカウント** がオススメ！

緊急情報や防災啓発情報を配信中！ 登録したら受信設定をお忘れなく

友だち登録

